

城山(銀山地区)の頂上で植物の説明を聞く参加者

...ながらのハイキング



初秋の森へ実りを探しに

見ながら、聞きながら、話しながら自然観察をしようという「...ながらのハイキング」。秋晴れの9月24日、銀山から同地区の城山方面へのハイキングが行われました。30代から70代の28人の参加者には、初秋に花や実をつける植物のカラー写真入りのくわしい説明と、ハイキングマップのついた手作りのリーフレットが配られました。

黄八丈の染料の原料となるコブナグサやキウイフルーツの原種であるサルナシの木、珍しいツルニンジンの花など、たくさんの植物の説明を聞きながら近畿自然歩道を進みました。ヌスビトハギなど引っ付き虫と呼ばれる草の実をルーペで観察したり、参加者の皆さんは童心に返っての植物観察を楽しんでいました。

若葉から参加された木村成子さんは「一人で参加してもお友達ができるし、ただ歩くだけでなく知識も広がります」と笑顔で話されました。

次回の予定

「秋の谷で紅葉を探そう」  
とき11月12日(日)  
ところ 朽原めぐみの森・愛宕山方面  
申込・問合せ 朝田宅(766-1909)

朝田道雄さんは「猪名川町付近のすばらしい自然をみんなで観察し満喫しましょう」と参加を呼びかけておられました。

仲間と力を合わせて

イナガワトムソーヤーズ



子ども達のアイデアいっぱいのお店

子ども達は、お金代わりの券を使って店番と客を交代で体験しました。子ども達が考えた店は、コイン落とし・チーズフォンデュ・べっこう飴・たこ焼き・輪投げの5つ。じゃんけんに勝つと無料になったり、輪投げの景品を手作りカステラにするなど、ユニークな工夫もみられました。子ども達は「たこ焼き作りがおもしろい」「店番は大変だけど楽しい」と、いきいきと活動していました。

リーダーの山田昌弘さんは「子ども達が活動を重ね、成長していく姿を見ることが一番の喜びです」と微笑まれました。

地域リーダーの育成を目的とする「ジュニアリーダー養成講座」として、50人の子ども達が参加。年間12回のプログラムは宿泊キャンプ3回を含む充実したものです。

10月14日、青少年いこいの家で「秋祭り・屋台村」が行われ、

まちの遊学会



簡単にダイナミックな野外料理

理をアレンジしたメニューが味わえると好評です。

食事の後は、自分達で作った竹のさおで魚釣りを楽しみました。2年前から家族で参加している若葉在住の久保真弓さんは「さまざまな経験ができ、その上わからないことは何でも聞けるので安心です」と話されました。

自然の中でワクワク体験！

猪名川町野外活動指導者会

深まりゆく秋。町内の山々も赤や黄に鮮やかに色づいています。皆さんは四季折々の自然に親しんでいますか。

猪名川町野外活動指導者会では、子どもから大人までみんなが自然にふれあい楽しむことを目的に、野外料理・ハイキング・キャンプなどの体験活動の企画から指導まで行っています。

今回は、この会が開催している野外活動プログラムを紹介します。



野外活動のリーダー

「町野外活動指導者会(以下「指導者会」と記載)は、教育委員会主催サマーキャンプの指導依頼をきっかけに12年前に結成されました。現在メンバーは20歳代から70歳代までの男女25人。野外活動と人を楽しませることが好きな人達の集まりで、それぞれが自然観察アドバイザー・森林

体験活動の場を提供

現在、指導者会は4つの活動グループを指導しています。小学1年～3年生対象の「イナレンジャー」と、小学4年～中学3年生対象の「イナガワトムソーヤーズ」は、春に広報紙などで募集した年間会員が参加しています。また、家族や個人が対象の「まちの遊学会」と、ながら

出張指導します！

子ども会やPTA活動などで企画・指導のお手伝いを有料で行っています。やってみたい体験に応じたプログラムを、一緒に考えてつくり上げていきます。

望遠鏡で星空ウォッチング

30人の子ども達が、ハイキング・野外炊飯・ゲーム大会など、年6回の活動を楽しんでいます。

9月30日、県立奥猪名健康の郷で「星空を見よう」が開催されました。天体同好会「ブレアデス」の人達を講師に、望遠鏡4台を使って日暮れから観測が始まりました。雲のない絶好の観測日和で、

肉眼でも天の川が確認できました。子ども達は、天体望遠鏡に興味津々。望遠鏡に映し出される月のクレーターや木星に感嘆の声を上げ、星座の説明や神話にも聞き入っていました。

保護者の松尾台在住の山下達夫さんは「子どもは毎回どんなことをするのかと、楽しみに参加しています」と話されました。リーダーの赤尾登代子さんは「いろいろな体験を通じて興味を持つものを見つけてほしいと思います」と語られました。

イナレンジャー



星空を楽しむ子ども達

世界の味を野外料理で

8月下旬の日曜日、杉生地区の猪名川の川原に集まったのは5家族20人。この日のテーマは「うんと足を伸ばしてブラジルだ」です。

家族ごとに分かれ、串に刺した大きな肉を一斗缶で作ったコンロで豪快に焼いていきます。焼けた肉をナイフで削り取り、たまねぎやレモンで作るさっぱりしたソースで食べるブラジルの味「シュラスコ」です。毎回世界各国の料理

次回の予定「やっぱり一度は行ってみたいイタリア」

とき12月17日(日)  
ところ 社会福祉会館  
メニュー ミラネーゼ、フォカッチャ、ブッシュ・ド・ノエル  
申込・問合せ 12月2日までに 福田宅(766-0116)

後編 編集集

ハイキングに参加して秋の森を歩いてきました。これまでに草や木しか見えていなかった道端の植物の一つひとつが、解説を聞くことで輝いて見えてくるように感じました。自然の中で充実感のある時を過ごすことは、大人にも子どもにも本物の贅沢なのかもしれません。

【いながわ特派員】